

## 1. 活動の概要

10月9日（金）、島根県立出雲養護学校みらい分教室のみなさんと『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。担任の先生から埋文職員を紹介していただいた後、お金が使われていない時代（縄文時代～古墳時代）と使われている時代（奈良時代～中世）の人々の生活の様子などについて勉強しました。

いよいよ和同開珎作りです。まず最初に鋳型から金属がもれないように嚴重に輪ゴムを巻き付けました。そして溶かした金属をこぼさないように慎重に鋳型の中に流し込みました。金属が固まるまでの時間を利用して、お金が初めて作られた時代（古墳時代終わりから奈良時代）の土器を実際に見て触れて楽しみました。さて、金属が固まったようなので鋳型から取り出してみると金属をはがしやすくするために付けた粉が和同開珎にべったり付いて真っ白です。でも大丈夫！、しっかり磨けば「ピカピカ」です。みんな疲れなんか気にせず一生懸命磨いて全員ピカピカにできあがりしました。

## 2. 活動の様子



鋳型を嚴重にしばります



慎重に金属を流し込むぞ！



和同開珎が真っ白だー！？



磨けば「ピカピカ」です

### 3. 子ども塾を終えて

#### 1) 児童生徒の皆さんから

- 鉄を溶かして型にいれて和同開珎ができたところが一番印象に残りました。
- 初めて鉄が溶けたところを見た。
- すごくがんばって、きれいにできて良かったです。

#### 2) 担任の先生から

- 外部との交流があまりないみらい分教室にとっては、貴重な活動になっております。今後も引き続き実施していただけると児童生徒にとって思い出に残る体験となります。
- 役割分担等でも配慮ある声かけをしていただき、一人一人が参加できた活動になって良かったです。

#### 3) 埋文センターから

みんな和同開珎作りは初めてなので、ドキドキワクワク？しながら楽しそうに磨いていました。驚くほど「ピカピカ」になって本当に良かったです。